

魚沼市文化財展示室改修工事設計等業務委託 特記仕様書

本業務委託は、公共建築設計業務委託共通仕様書（以下、「標準仕様書」という。）のほか、本特記仕様書に従い実施するものとする。

1 業務目的

魚沼市の火焰型土器を代表とする縄文土器や古墳から出土した刀剣などの文化財を市民及び観光客等に公開し、魚沼市の文化や歴史を伝え郷土愛の醸成や観光振興に寄与できるよう魚沼市文化財展示室を整備に必要な設計図書及び工事費積算業務等を行うことを目的とする。

2 設計業務に従事する者の資格

受注者は、建築士法に基づく１級建築士の資格を有する者を管理技術者と定め、設計業務に従事させること。

3 業務内容

委託番号：４生委第８８号

業務名：魚沼市文化財展示室改修工事設計等業務委託

事業計画：魚沼市文化財展示室整備計画のとおり

履行期間：契約締結の日から令和５年３月３１日まで

履行地点：魚沼市 今泉 地内（別添位置図のとおり）

予定工事費： ７４,０００千円（税込み）以内とする。

対象施設概要：旧広神庁舎１階部分

鉄筋コンクリート造 約 500 m²（別添計画図のとおり）

4 業務項目

4.1 実施設計業務

(1) 設計業務

既存建物を調査し、次の①～⑧に留意して設計図書を作成する。

上記図書に付随した関係資料を作成する。

①既存床、壁、天井等の内装撤去

②既存照明等電気設備及び接続配管、配線等の撤去

（空調設備は既存機器を使用する。照明はＬＥＤ化及び展示用照明の追加）

- ③既存機器等の撤去後の床張り、壁及び天井等の改修
- ④各室出入口戸の付け替え
- ⑤工法の選定理由を明確にする
- ⑥改装デザイン提案
- ⑦数量積算
 - ・各工事毎において、数量を算定した計算式を明示
 - ・上記の数量算定の根拠と、図面との突合が容易である
 - ・同工種及び類似工種において、異種単価は使用しない
- ⑧一式単価の使用は極力避ける

4.2 確認申請業務（用途変更）

文化財展示室への改修にあたり、必要となる確認申請手続き業務を行う。

上記申請に必要な書類、図面等を作成し、関係機関への提出、質問等への対応等、許認可までの事務手続業務を行う。ただし、申請に係る手数料は発注者の負担とする。

5 業務にあたっての留意事項

受注者は、委託業務の処理について、その全部又は大部分を第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。ただし、あらかじめ書面により発注者へ申請し、その承諾を得たときは、この限りでない。

6 法令の遵守

本設計の実施にあつては、建築基準法、消防法、その他関係法令規則等を確実に遵守すること。

7 打合せ等

業務等を適正かつ円滑に実施するため、管理技術者と監督員は常に密接な連絡をとり、業務の方針及び条件等の疑義を正すものとし、その内容についてはその都度受注者が書面（打合せ記録簿）に記録し、相互に確認しなければならない。なお、連絡は積極的に電子メール等を活用し、電子メールで確認した内容については、必要に応じて書面（打合せ記録簿）を作成するものとする。

管理技術者は、仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は速やかに監督員と協議するものとする。

主な打合せは次のとおり

- ①各種法令手続きの打合せ
- ②関係官庁との打合せ
- ③発注者との各種打合せ

8 成果品の提出部数

(1) 実施設計書類 1部（A4ファイルに収納して提出）

- ①現況調査資料 ②工事費内訳書 ③代価表 ④見積書 ⑤積算根拠資料
- ⑥数量計算書 ⑦単価比較表 ⑧打合せ簿

(2) 実施設計図書 2部（A3判で提出）

- ①表紙（工事名称等） ②図面リスト ③特記仕様書 ④案内図、配置図、面積表
- ⑤仕上げ表 ⑥平面図 ⑦展開図 ⑧断面図 ⑨各伏図 ⑩各詳細図 ⑪建具表 ⑫電気設備配置図 ⑬改装デザインパス（内観図） ⑭その他必要な図面

(3) デジタルデータ 1部（CDにて提出）

- ①(1)の実施設計書類は、エクセル及びPDFデータとする。
- ②(2)の実施設計図書は、JWW及びSFCデータとする。

9 守秘義務

受注者は、業務の実施過程で知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。また、当該業務の結果（業務処理の過程において得られた記録等を含む）を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡してはならない。

10 貸与資料

設計に際して以下の資料を貸与するものとし、受注者は、設計が完了したとき、速やかにこれを返却すること。

- ①既存建物の図面一式
- ②その他本業務遂行に必要となる資料一式

11 その他

この仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者との協議により定めるものとする。

魚沼市文化財展示室整備計画

令和4年7月策定

魚沼市教育委員会事務局生涯学習課

1. 目的

魚沼市文化財展示室（以下「文化財展示室」という。）を整備することにより、魚沼市の火焰型土器を代表とする縄文土器や古墳から出土した刀剣などの文化財を市民及び観光客等に公開し、魚沼市の文化や歴史を伝え郷土愛の醸成や観光振興に寄与すること、また、文化財展示室のほか隣接する広神コミュニティセンターを含め、文化財展示室来場者の休憩や地域の方々の交流などを行うことができるくつろぎの場の設置を検討し、図書室、体育館を含めた敷地内施設全体で賑わいの創造を図ることを目的とします。

2. 設置場所

上記目的を達成するため、文化財展示室の設置を検討するにあたり、市の中央に位置し、守門、入広瀬方面にある目黒邸や八十里越など既存文化財へのアクセスの入口として、庁舎再編により利活用方法の検討が行われていた旧広神庁舎に文化財展示室を設置することとします。

3. 施設機能

(1) 文化財の活用

市所有の土器や石器、古民具等を用いながら、魚沼市の歴史を市内外へ紹介します。

① 市所有文化財等の展示スペース

市内で発掘された火焰土器や刀剣、先人が使用していた民具などを展示します。

② 文化財整理室

市内で発掘された土器や石器等の遺跡整理作業を行うスペースを設置します。来場者が作業を見学したり体験ができるよう検討します。

③ 企画展示室

市内の文化財等を紹介するにあたり、常設の展示スペースの他、様々な企画展が開催できるスペースを設けます。

④ 倉庫

展示関係物品等の保管場所として配置します。

(2) 執務機能

生涯学習課文化財係の業務を当該箇所で行うため、執務室等を設置します。

① 事務室

生涯学習課文化財係の事務室を配置します。

② 資料室

文化財の関係資料の文書庫を設置します。

③ 打合せ・休憩スペース

館内に事務的打合せができるスペースを設置します。なお、打合せに使用していない時は、来場者の休憩の場として使用できるような設えとするよう検討します。

(3) くつろぎの場

隣接する広神コミュニティセンターに、文化財展示室の来場者や図書館、体育館の利用者が休憩でき、また、地域の方々が交流できるような気軽に立ち寄れるスペースを検討します。

なお、くつろぎのスペースは、今後広神コミュニティセンター、生涯学習センター建設後の広神図書館の状況を見ながら時期、設置場所、規模等について検討します。

4. 施設規模の算定

施設を運営するにあたり、必要な規模を他自治体施設等を参考に決定します。ただし、設置される場所の範囲が確定しているため、その範囲の中で算定します。

(1) 全体面積 約 500.0 m²

(2) 各室想定面積

No.	室名称（仮）	区分	面積
1	常設展示室	文化財活用	130.0 m ²
2	企画展示室		40.0 m ²
3	文化財整理室		40.0 m ²
4	受付・エントランス		20.0 m ²
5	倉庫 1・2		40.0 m ²
6	事務室	執務機能	42.0 m ²
7	資料室		18.0 m ²
8	打合せ・休憩スペース		50.0 m ²
9	その他（風除室、避難通路等）	その他	120.0 m ²

※面積は概ねの数値であり、検討により変更があります。

※くつろぎの場は未定

5. 設備機能

(1) 文化財活用スペース

① 展示ケース

各展示物に合わせ適切な管理（調湿、盗難防止等）ができるケースを検討します。

② 内装等

文化財活用スペースは、文化財関連のグラフィックを用いた内装や木材の利用など落ち着いた雰囲気でご過ごすことができるような設えを検討します。

③ 照明等

室内照明はLEDとし、その他展示箇所の移動等に対応できるような可動式及び調光可能な照明を検討します。

(2) 打合せ・休憩スペース

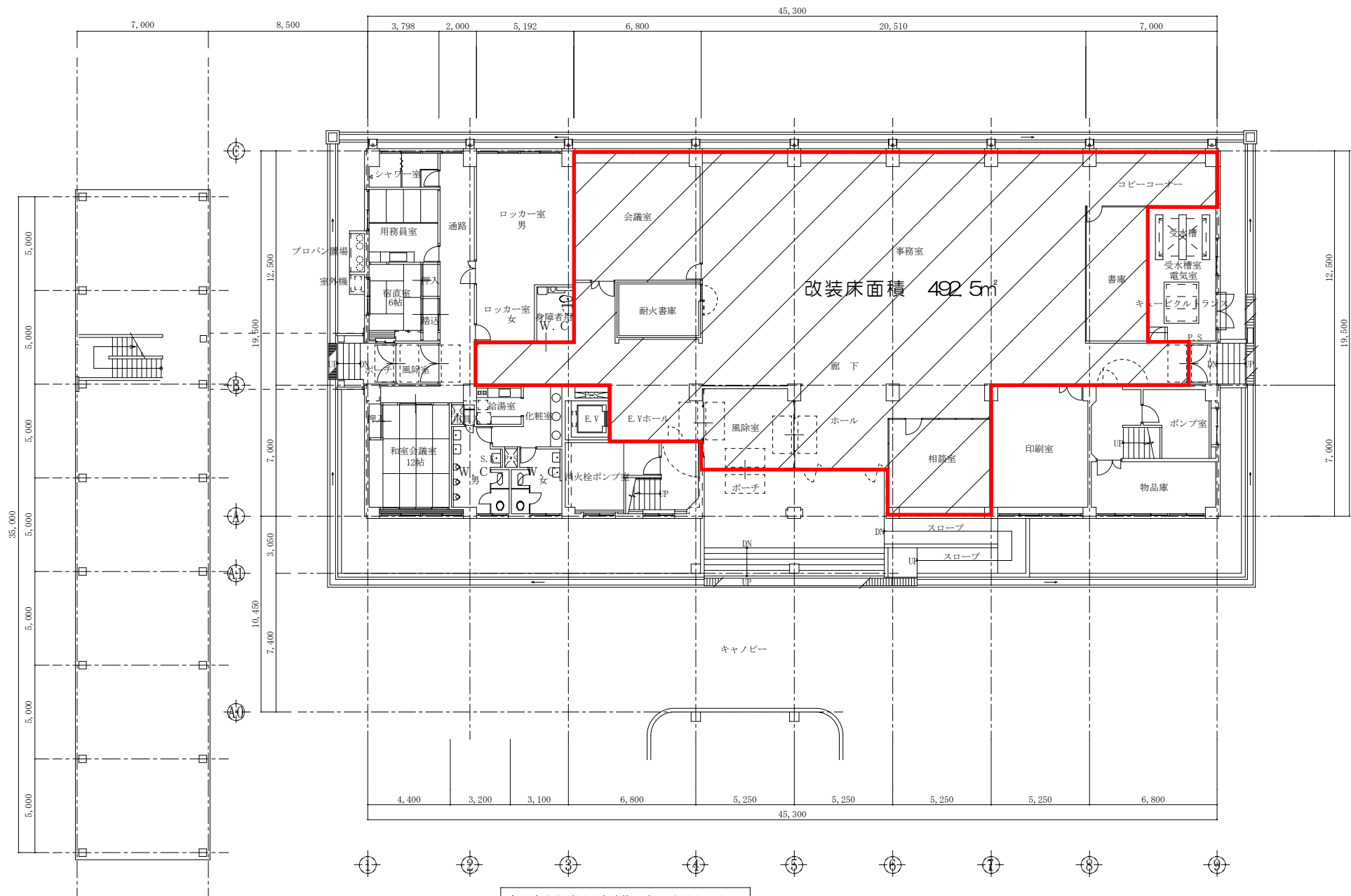
① テーブル、椅子等

テーブル、椅子等は打合せに適しており、且つ、休憩にも対応できるような備品を検討します。また、地元産材の活用も検討します。

(3) くつろぎの場

① テーブル、椅子等

休憩や学習、読書など来場者がゆったりくつろげる時間を提供できる備品類を検討します。



魚沼市文化財展示室改修工事 平面図 1/200

